



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 LINEヤフー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4689

URL <https://www.lycorp.co.jp/ja/>

代表者（役職名）代表取締役社長 CEO

（氏名）出澤 剛

問合せ先責任者（役職名）上級執行役員 CFO(最高財務責任者)

（氏名）坂上 亮介 (TEL) 03-6779-4900

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2024年3月期 第2四半期	871,799	11.1	116,128	16.7	123,420	40.8	101,307	107.0	93,736	132.6	125,918	0.9	
2023年3月期 第2四半期	784,909	4.5	99,478	△13.8	87,683	△17.3	48,936	△21.7	40,307	△25.7	124,758	76.8	
	調整後EBITDA		調整後1株当たり 四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益						
	百万円	%	円	銭	%	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	203,309	21.6	12.44	158.5		12.50		12.50		12.46		12.46	
2023年3月期第2四半期	167,196	△10.7	4.81	△36.3		5.38		5.38		5.36		5.36	

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,699,376	3,405,029	3,006,895	34.6
2023年3月期	8,588,722	3,317,900	2,919,399	34.0

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.56	5.56	
2024年3月期	—	0.00				
2024年3月期(予想)			—	5.56	5.56	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,900,000	13.6	356,000 ～366,000	7.0 ～10.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は四半期決算短信(添付資料)5ページ「(1)連結経営成績に関する定性的情報 3. 当期の見通し (2023年4月1日～2024年3月31日)」をご覧ください。

## ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,635,230,111株	2023年3月期	7,633,501,686株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	136,073,873株	2023年3月期	136,820,618株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,497,483,863株	2023年3月期2Q	7,493,477,089株

(注) 自己株式数については、株式給付信託(J-ESOP)、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託が保有する当社株式(2023年3月期: 33,773,403株、2024年3月期2Q: 32,976,206株)を含めて記載しています。

- (4) 各種経営指標の算式

- 調整後EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費(※1)±EBITDA調整項目(※2)
- 調整後1株当たり四半期利益: 調整後四半期利益(※3)÷普通株式の期中平均株式数(四半期累計)

(※1) 減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費、一部の賃借料

(※2) EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益(固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、段階取得差損益、その他現金の流出が未確定な取引(一時的な引当金等)等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益

(注) 2023年3月期第3四半期より調整後EBITDAの定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加。2023年3月期第1四半期および第2四半期の当該収益・費用を、2023年3月期第3四半期に一括で調整

(※3) 調整後四半期利益: 親会社の所有者に帰属する四半期利益±EBITDA調整項目±調整項目の一部に係る税金相当額

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
- 決算補足説明資料は、2023年11月7日(火)に当社ホームページ(<https://www.lycorp.co.jp/ja/ir.html>)に掲載しています。
- 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、当社ならびに中核完全子会社であるLINE(株)およびヤフー(株)を中心としたグループ内再編を実施し、商号をZホールディングス(株)からLINEヤフー(株)に変更しました。

○添付資料の目次

1 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 経営上の重要な契約等	7
(4) 事業等のリスク	7
2 【要約四半期連結財務諸表及び主な注記】	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書	10
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15

## 1 【当四半期決算に関する定性的情報】

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## 1. 連結経営成績の概況(2023年4月～9月)

<b>■トピックス</b>
<b>売上収益は8,717億円(前年同期比11.1%増)、調整後EBITDAは2,033億円(前年同期比21.6%増)となり、ともに第2四半期連結累計期間として過去最高を更新。</b>

	前年同期	当四半期累計	増減(額)	増減(率)
売上収益	7,849億円	8,717億円	868億円増	11.1%増
調整後EBITDA	1,671億円	2,033億円	361億円増	21.6%増

当第2四半期連結累計期間の売上収益は、2022年10月にPayPay(株)を連結子会社化したことに伴う戦略事業の増収等により、過去最高となる8,717億円(前年同期比11.1%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間の調整後EBITDAは、コスト最適化に伴いコマース事業の収益性が改善したことや、事業の選択と集中の推進により戦略事業の収益性も改善したこと等が奏功し、過去最高となる2,033億円(前年同期比21.6%増)となりました。

## 2. セグメントの業績概況(2023年4月～9月)

## セグメント別の売上収益・調整後EBITDA

	前年同期	当四半期累計	増減(額)	増減(率)
メディア事業				
売上収益	3,117億円	3,221億円	103億円増	3.3%増
調整後EBITDA	1,224億円	1,273億円	49億円増	4.0%増
コマース事業				
売上収益	4,115億円	4,157億円	42億円増	1.0%増
調整後EBITDA	735億円	886億円	151億円増	20.6%増
戦略事業				
売上収益	633億円	1,350億円	717億円増	113.2%増
調整後EBITDA(△は損失)	△145億円	△21億円	124億円増	—
その他				
売上収益	63億円	65億円	2億円増	3.2%増
調整後EBITDA	2億円	35億円	33億円増	—
調整額				
売上収益	△81億円	△77億円	—	—
調整後EBITDA(△は損失)	△144億円	△141億円	—	—
合計				
売上収益	7,849億円	8,717億円	868億円増	11.1%増
調整後EBITDA	1,671億円	2,033億円	361億円増	21.6%増

(注) 1 2024年3月期第1四半期より、サービスの効率的な提供に重点を置き、迅速に市場の変化に対応するため、一部のサービスおよび子会社をセグメント間で移管しています。主な変更内容は、その他に区分されていたヤフー(株)のデータソリューションサービスおよび子会社であるdeLy(株)のサービスをメディア事業に移管し、また、その他および調整額に配賦していたLINE(株)およびその子会社に関する費用の一部をメディア事業、コマース事業および戦略事業に配賦しています。これに伴い、前年同期のセグメント情報を遡及修正して表示しています。

2 調整額は、セグメント間取引および報告セグメントに帰属しない全社費用です。

## ① 当第2四半期連結累計期間のメディア事業

当第2四半期連結累計期間におけるメディア事業は、ディスプレイ広告の減収等の影響があったものの、2022年9月のLINE MUSIC(株)連結子会社化の影響やアカウント広告および検索広告の増収により、売上収益は3,221億円(前年同期比3.3%増)となりました。また、調整後EBITDAは1,273億円(前年同期比4.0%増)となりました。なお、メディア事業の売上収益が全売上収益に占める割合は36.9%となりました。

- ・アカウント広告：「LINE公式アカウント」において2023年6月に料金プランを改定したことも奏功し、有償アカウント数が増加しており、売上収益は前年同期比で20.9%増加しました。
- ・検索広告：パートナーサイト面では減収となったものの、LINEヤフー面の増収により、売上収益は前年同期比で3.4%増加しました。
- ・ディスプレイ広告：市況影響等により、前年同期比で減収となりました。

## ② 当第2四半期連結累計期間のコマース事業

コマース事業の売上収益は、アスクルグループやZOZOグループにおける増収や、トラベル事業が引き続き好調に推移したことにより、前年同期比で増加しました。

eコマース取扱高(※1)は、コスト最適化等の影響により、2兆124億円(前年同期比0.2%減)となり、うち国内物販系取扱高は、1兆4,467億円(前年同期比1.3%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるコマース事業の売上収益は、4,157億円(前年同期比1.0%増)となりました。また、調整後EBITDAは、コスト最適化に伴い収益性が改善したこと等により、886億円(前年同期比20.6%増)となりました。なお、コマース事業の売上収益が全売上収益に占める割合は47.7%となりました。

(※1) eコマース取扱高は、4ページ「各セグメントの主なサービス・商品」に掲載している「物販EC」、「サービスEC」およびメディア事業の「その他」の有料デジタルコンテンツ等における取扱高の合算値です。

## ③ 当第2四半期連結累計期間の戦略事業

戦略事業の売上収益は、2022年10月のPayPay(株)連結子会社化の影響により、前年同期比で大きく増加しました。

PayPay(株)とPayPayカード(株)を含むPayPay連結取扱高は、5.9兆円(※2、3)(前年同期比28.1%増(※4))となり、順調に拡大しています。また、PayPay銀行(株)の貸出金残高は6,495億円(前年同期比28.9%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における戦略事業の売上収益は、1,350億円(前年同期比113.2%増)となりました。また、事業の選択と集中を推進したことや、PayPay(株)とPayPayカード(株)を含むPayPay連結の調整後EBITDAの成長により、戦略事業の調整後EBITDAの赤字幅は前年同期比で縮小しています。なお、戦略事業の売上収益が全売上収益に占める割合は15.5%となりました。

(※2) ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まず。2022年3月期第4四半期以降は「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。2022年2月より提供開始した「クレジット(旧あと払い)」による決済を含む

(※3) 値は10億円単位で端数切り捨ての上、1,000億円単位で四捨五入

(※4) PayPayカード(株)の取扱高を含む連結取扱高の増減率

## 各セグメントの主なサービス・商品

メディア事業	LINE 広告	ディスプレイ広告		「LINE VOOM」、「LINE NEWS」、「トークリスト」、「Talk Head View」、「Talk Head View Custom」、その他
		アカウント広告		「LINE公式アカウント」、「LINEプロモーションスタンプ」、「LINEで応募」、「LINEチラシ」、その他
		その他広告		「LINEバイト」、その他
	ヤフー 広告	検索広告		Yahoo! 広告「検索広告」
		ディスプレイ 広告	運用型広告	Yahoo! 広告「ディスプレイ広告」(運用型) 等
			予約型広告	Yahoo! 広告「ディスプレイ広告」(予約型) 等
その他	LINE		「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、「LINE MUSIC」、「LINEマンガ」、その他	
	ヤフー		「ebookjapan」、不動産関連、「Yahoo! ロコ」、その他	
コマース事業	物販EC	ショッピング事業		「Yahoo! ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINE ショッピング」、「LINE FRIENDS」、「LINE ギフト」、「MySmartStore」、「Yahoo! マート by ASKUL」、「LIVEBUY」、「LINE SHOPPING(台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「EZ STORE」、「QUICK EC」、「MyShop」
		リユース事業		「ヤフオク!」(※5)、「PayPayフリマ」(※6)、「ZOZUSED」
		アスクルBtoB事業 (インターネット経由)		「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
	サービスEC		「Yahoo! トラベル」、「一休トラベル」、「LINE トラベル(台湾)」、その他	
	その他		プレミアム会員、アスクル BtoB事業(インターネット経由以外)、バリューコマース、その他	
戦略事業	Fintech	PayPay連結		PayPay、PayPayカード
		PayPay銀行		—
		その他金融		PayPayアセットマネジメント、「PayPayほけん」、「LINE Pay」、「LINEスコア」、「LINEポケットマネー」、「LINE BITMAX」、「LINE NFT」、その他
	その他		AI、「LINE Search」、その他	

(※5) 「ヤフオク!」は、2023年11月1日に「Yahoo!オークション」にサービス名称を変更しました。

(※6) 「PayPayフリマ」は、2023年11月1日に「Yahoo!フリマ」にサービス名称を変更しました。

3. 当期の見通し(2023年4月1日～2024年3月31日)

当社は、2023年10月1日を効力発生日として、当社ならびに中核完全子会社であるLINE(株)およびヤフー(株)を中心としたグループ内再編を実施しました。2024年3月期は、当該グループ内再編を通じた事業の効率化と2025年3月期以降の再成長のための基盤作りを行う1年と位置付け、固定費削減や事業の選択と集中を進めます。連結売上収益は1兆9,000億円(前年度比13.6%増)、調整後EBITDAは3,560億円～3,660億円(前年度比7.0～10.0%増)を見込んでいます。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債および資本の状況

## 1. 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて110,653百万円(1.3%増)増加し、8,699,376百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び現金同等物の主な増減理由は、「キャッシュ・フローの状況」に記載しています。
- ・カード事業の貸付金は、主にクレジットカード事業の取扱高増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。
- ・銀行事業の有価証券は、PayPay銀行(株)の資金運用による有価証券の取得・売却等により前連結会計年度末と比べて増加しました。
- ・持分法で会計処理されている投資は、主に投資の取得により前連結会計年度末と比べて増加しました。

## 2. 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて23,524百万円(0.4%増)増加し、5,294,346百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・銀行事業の預金は、顧客からの預金の増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。
- ・有利子負債は、主に長期借入金の借入による増加があったものの、短期借入金の返済による減少、社債の償還による減少、およびコマーシャル・ペーパー償還による減少により前連結会計年度末と比べて減少しました。

## 3. 資本

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末と比べて87,128百万円(2.6%増)増加し、3,405,029百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、配当の支払いによる減少があったものの、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。
- ・その他の包括利益累計額は、主に円安の影響に伴う在外営業活動体の換算差額の増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。

## キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ264,540百万円減少し、1,387,310百万円となりました。このうち銀行事業に関する日銀預け金は238,242百万円です。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、カード事業の貸付金の増加、法人所得税の支払、銀行事業の貸付金の増加があったものの、主に税引前四半期利益の計上、銀行事業の預金の増加、法人所得税の還付により103,420百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、銀行事業の有価証券の売却または償還による収入、貸付金の回収による収入があったものの、主に銀行事業の有価証券の取得による支出、貸付金の貸付による支出により250,049百万円の支出となりました。



財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入があったものの、主に社債の償還による支出、配当金の支払、短期借入金の減少および長期借入金の返済による支出により126,080百万円の支出となりました。

(3) 経営上の重要な契約等

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の締結および変更はありません。

(4) 事業等のリスク

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクの発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

## 2 【要約四半期連結財務諸表及び主な注記】

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
資産				
現金及び現金同等物	1,651,851	1,387,310	△264,540	△16.0
銀行事業のコールローン	98,000	120,000	22,000	22.4
営業債権及びその他の債権	623,300	622,680	△620	△0.1
棚卸資産	31,690	32,365	674	2.1
カード事業の貸付金	593,058	663,021	69,962	11.8
銀行事業の有価証券	414,719	545,268	130,548	31.5
銀行事業の貸付金	620,383	644,780	24,396	3.9
その他の金融資産	447,841	445,723	△2,118	△0.5
有形固定資産	213,839	232,030	18,190	8.5
使用権資産	221,221	239,683	18,462	8.3
のれん	2,074,779	2,070,305	△4,473	△0.2
無形資産	1,267,738	1,264,803	△2,934	△0.2
持分法で会計処理されている投資	191,048	258,475	67,427	35.3
繰延税金資産	44,477	57,183	12,706	28.6
その他の資産	94,772	115,743	20,971	22.1
資産合計	8,588,722	8,699,376	110,653	1.3

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
負債及び資本				
負債				
営業債務及びその他の債務	1,351,794	1,331,232	△20,561	△1.5
銀行事業の預金	1,495,629	1,577,463	81,834	5.5
有利子負債	1,913,799	1,860,443	△53,355	△2.8
その他の金融負債	14,729	9,996	△4,732	△32.1
未払法人所得税	31,616	41,929	10,313	32.6
引当金	23,136	24,301	1,165	5.0
繰延税金負債	240,772	235,932	△4,839	△2.0
その他の負債	199,345	213,047	13,701	6.9
負債合計	5,270,822	5,294,346	23,524	0.4
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	247,094	247,603	508	0.2
資本剰余金	2,046,696	2,056,832	10,136	0.5
利益剰余金	647,347	700,318	52,971	8.2
自己株式	△70,436	△70,050	385	—
その他の包括利益累計額	48,697	72,190	23,492	48.2
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,919,399	3,006,895	87,495	3.0
非支配持分	398,501	398,134	△367	△0.1
資本合計	3,317,900	3,405,029	87,128	2.6
負債及び資本合計	8,588,722	8,699,376	110,653	1.3

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
売上収益	784,909	871,799	86,890	11.1
売上原価	245,933	253,341	7,408	3.0
販売費及び一般管理費	441,211	516,857	75,645	17.1
事業分離における移転利益	—	10,458	10,458	—
子会社の支配喪失に伴う利益	1,714	4,068	2,353	137.3
営業利益	99,478	116,128	16,649	16.7
その他の営業外収益	8,064	5,326	△2,738	△34.0
その他の営業外費用	5,774	10,308	4,533	78.5
持分変動利益	5,343	19,262	13,919	260.5
持分法による投資損益(△は損失)	△19,428	△6,987	12,440	—
税引前四半期利益	87,683	123,420	35,737	40.8
法人所得税	38,747	22,113	△16,633	△42.9
四半期利益	48,936	101,307	52,371	107.0
四半期利益の帰属				
親会社の所有者	40,307	93,736	53,428	132.6
非支配持分	8,628	7,571	△1,057	△12.3
四半期利益	48,936	101,307	52,371	107.0
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益(円)	5.38	12.50	7.12	132.4
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	5.36	12.46	7.10	132.3

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	48,936	101,307
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない 項目		
確定給付制度の再測定	△16	△112
FVTOCIの資本性金融資産	51,640	763
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	13
項目合計	51,504	663
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目		
FVTOCIの負債性金融資産	△935	△1,325
在外営業活動体の換算差額	25,252	25,272
項目合計	24,316	23,946
税引後その他の包括利益	75,821	24,610
四半期包括利益	124,758	125,918
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	116,120	118,448
非支配持分	8,638	7,470
四半期包括利益	124,758	125,918

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2022年4月1日	237,980	2,037,384	401,322	△54,086	61,776	2,684,377	297,819	2,982,197
四半期利益			40,307			40,307	8,628	48,936
その他の包括利益					75,812	75,812	9	75,821
四半期包括利益	—	—	40,307	—	75,812	116,120	8,638	124,758
所有者との取引額等								
新株の発行	9,045	9,156				18,201		18,201
剰余金の配当			△43,535			△43,535	△7,428	△50,964
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			8,612		△8,612	—		—
自己株式の取得				△16,405		△16,405		△16,405
子会社の支配獲得及び 喪失に伴う変動						—	2,427	2,427
支配継続子会社に対する 持分変動		689				689	2,419	3,108
株式に基づく報酬取引		7,410				7,410		7,410
その他		△493	△45			△538	14	△523
所有者との取引額等合計	9,045	16,763	△34,967	△16,405	△8,612	△34,176	△2,568	△36,745
2022年9月30日	247,025	2,054,148	406,662	△70,492	128,976	2,766,320	303,889	3,070,210

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2023年4月1日	247,094	2,046,696	647,347	△70,436	48,697	2,919,399	398,501	3,317,900
四半期利益			93,736			93,736	7,571	101,307
その他の包括利益					24,711	24,711	△101	24,610
四半期包括利益	—	—	93,736	—	24,711	118,448	7,470	125,918
所有者との取引額等								
新株の発行	508	659				1,168		1,168
剰余金の配当			△41,855			△41,855	△7,854	△49,710
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			1,218		△1,218	—		—
自己株式の取得				△0		△0		△0
子会社の支配獲得及び 喪失に伴う変動						—	△5,838	△5,838
支配継続子会社に対する 持分変動		2,682				2,682	4,940	7,622
株式に基づく報酬取引		7,819				7,819		7,819
その他		△1,025	△128	385		△767	915	147
所有者との取引額等合計	508	10,136	△40,764	385	△1,218	△30,952	△7,837	△38,789
2023年9月30日	247,603	2,056,832	700,318	△70,050	72,190	3,006,895	398,134	3,405,029

## (5)要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	87,683	123,420
減価償却費及び償却費	69,761	85,942
事業分離における移転利益	—	△10,458
子会社の支配喪失に伴う利益	△1,714	△4,068
持分変動利益	△5,343	△19,262
持分法による投資損益(△は益)	19,428	6,987
銀行事業のコールローンの増減額(△は増加)	30,000	△22,000
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	17,404	△3,031
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△9,599	5,225
カード事業の貸付金の増減額(△は増加)	313	△69,962
銀行事業の貸付金の増減額(△は増加)	△86,506	△24,396
銀行事業の預金の増減額(△は減少)	52,743	81,834
その他	△36,708	△19,893
小計	137,462	130,336
利息及び配当金の受取額	769	2,492
利息の支払額	△5,083	△5,956
法人所得税の支払額	△49,187	△49,045
法人所得税の還付額	1,571	25,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,532	103,420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
銀行事業の有価証券の取得による支出	△69,216	△230,412
銀行事業の有価証券の売却または償還による収入	135,110	102,701
貸付金の貸付による支出	△4,102	△42,699
貸付金の回収による収入	249	41,160
その他	△37,323	△120,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,717	△250,049
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	82,600	△72,699
長期借入による収入	107,699	151,408
長期借入金の返済による支出	△33,575	△49,748
社債の償還による支出	△60,000	△80,000
コマーシャル・ペーパー発行による収入	309,000	235,000
コマーシャル・ペーパー償還による支出	△289,000	△249,000
配当金の支払額	△43,547	△41,852
リース負債の返済による支出	△17,183	△19,767
その他	55,725	577
財務活動によるキャッシュ・フロー	111,718	△126,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,523	8,168
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	231,492	△264,540
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,523	1,651,851
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,359,016	1,387,310



## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## 1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## 2. 見積り及び判断の利用

IFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は会計方針の適用および資産、負債、収益、費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り、仮定を設定することが義務付けられています。実際の業績はこれらの見積りと異なる場合があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は継続して見直しています。会計上の見積りの見直しによる影響は、見積りを見直した会計期間および将来の会計期間において認識しています。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える判断、見積り、仮定は、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同一です。

## 3. 事業分離における移転利益

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

LINE(株)が営むAIカンパニー事業を、ワークスモバイルジャパン(株)に会社分割により承継し、その対価として同社の株式を取得しました。会社分割の対価と、承継した事業に係る純資産との差額を事業分離における移転利益として認識しています。

## 4. 子会社の支配喪失に伴う利益

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

2023年8月31日にJDW Co., Ltd. に対して第三者からの出資が実施され当社グループの持分比率が減少した結果、当社の子会社に該当しないこととなり、新たに持分法適用関連会社となったことにより生じたものです。

当第2四半期連結会計期間末においては、その時点で入手可能な合理的情報に基づいた暫定的な会計処理を行っています。

## 5. 持分変動利益

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

主に、当社グループの保有するWebtoon Entertainment Inc. に対する持分比率が変動したことに伴い発生した利益です。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

主に、当社グループの保有するWebtoon Entertainment Inc. に対する持分比率が変動したことに伴い発生した利益です。